

2018年度 実践女子大学 派遣留学報告書

留 学 先	カナダ・フレーザーバレー大学		
留学先での所属	English Language Studies		
派遣期間	2018年9月～2019年4月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	文学部 英文学科	派遣時学年	2年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

留学を通して得たことは計り知れないが、特に精神面では大きな成長ができたと思う。日本にいた当初は、人に聞くことが苦手で、なにかわからないことがあったらすぐにネットで調べていたが、カナダ来てからは、わからないことがあったらすぐ人に質問するようにした。例えば、道やおすすめの食べ物、お店、授業内容など、分からなかったらすれ違ったひとでもバス待ちの人でも誰にでも質問した。人と話すことによって英語の勉強にもなったし、間違えても恥ずかしいという日本人ならではの意識を変えることが出来たと思う。また、これらの気持ちの変化により、カナダ、タイ、中国、韓国、台湾、フィリピン、ベトナム、インド、ロシア、シリア、イラクなど様々な国の友達を作ることが出来た。戦争を体験していた友達や、お金持ちの友達など、色々な話を聞くことが出来てとても勉強になった。カナダに行く前にたてた、多国籍の友達を作るという目標を達成することができた。その他にも、ホストファミリーと生活することでカナダの文化や宗教を学ぶことが出来た。日曜礼拝に参加することで、一つ物を信じる凄さを目の当たりしたり、Thanks giving やイースターなど、日本では経験できないことをたくさん経験することが出来た。生活スタイルやカナダ人が大切にしていることなど、日本とは違うものばかりで、ホームステイをしなければ得られない多くのものを得ることが出来た。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

一つ言えることは留学をすれば英語が話せるようになるわけではないということです。どれだけ自分で勉強するか、自主的に動けるかによって英語力が身に付くかどうか変わってきます。そして留学は英語力を身につけるだけでなく、更の一つ以上の目標をもって行くべきだということです。そのもう一つの目標に向かって頑張ることで更に英語力というものはつくのではないかと思います。例えば、外国人の友達をたくさん作りたい。そうしたら、まずは話しかける必要があります。そのためにはコミュニケーション力や英語力がようになってきます。つまり、留学に行く前にそれなりの英語の知識をつけていくべきだということです。その方が外国人の友達は明らかに早く作れるだろうし、色々なトピックについて会話をすることが出来ます。こんなことを言うのは、私が勉強をしていかなかったことについて後悔しているからです。カナダに行ってから英会話の勉強を始めました。読み書きは他の国の学生よりはできましたが、話すことは全然できませんでした。英会話のフレーズも分からず、日常会話のレベルは最悪なものでした。そのため、大学の宿題をしながら、英会話のための勉強もしていました。宿題や毎回クイズの勉強もしなければならなかったので、睡眠時間を削って勉強しました。従って、英会話力を効率的に伸ばしたい人は日本にいるうちにしっかりと勉強するべきだと思います。

留学をしなければよかったという人はほとんどいないと思います。私にとって留学という経験はかけがえのないものになりました。この留学を通して、英語力を身につけただけでなく、人間力も高めることが出来たと思います。今悩んでいる学生さんがいたら、頑張って周りを説得して、留学をしてください。きっと頑張って説得してよかったと思える日が来ると思います。

2018年度 実践女子大学 派遣留学報告書

留 学 先	カナダ・フレーザーバレー大学		
留学先での所属	English Language Studies		
派遣期間	2018年9月～2019年4月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	文学部 英文学科	派遣時学年	2年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

まず私は今回カナダに約八カ月間留学するにあたり、留学前に大きく分けて二つの目標を設定した。一つ目は自分をあえて厳しい状況下において英語学習をすること。それによる英語力の向上。二つ目に挙げるのは弱い自分を強くすることである。今回の長期留学を通して、この二つの目標は自分なりに達成できたと感じている。特に二つ目の自立という面では、自分でも驚くほど留学前と後では変わったと実感している。また、今回の留学を通して得たものは非常に多くある。例として、まず自信をもって挙げられるのは一生ものの大切な友人ができたという点である。留学後も定期的に連絡を取り合える友人ができたことは私にとってかけがえのない財産である。さらには、自分自身の人生観が大きく変わったことも挙げられる。カナダという移民の国に留学して様々なバックグラウンドを持つひとたちと関わったことで小さかった自分の将来に関する考え方が大きいものへと変わった。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

実践女子大学の派遣留学制度を利用してこれから留学したいと考えている皆さん・留学することが決まった皆さんにお伝えしたいことはただ一つです。“自分に自信をもつこと”。これに限ると思います。留学は決して自分ひとりの力では実現できるものではありません。もちろん大前提として、自分自身の「留学したい」という強い気持ちは重要ではありますが、留学前も留学中も周りの人からのサポートは、自分の想像以上に必要になってきます。決して安いとは言えないお金を出してくれて自分の一番の味方でいてくれる両親、「頑張っってね」・「応援しているよ」や「絶対大丈夫」などといった温かい言葉を不安なときにかけてくれた友人、留学中は本当の家族のように自分に向き合ってくれたホストファミリー、留学したからこそ出会えた友人、そして留学を全面的にサポートしてくださる国際交流課の方々など自分の周りには数多くのサポーターが居ました。恐らく皆さんの周りにも居ると思います。そういった方々の気持ちを無駄にしないためにも、先ほど挙げたとおり“自信をもつこと”は大事なことでしょう。私はカナダに約八カ月間留学することが決まってから毎日、留学することに対して不安に思わなかった日はありませんでした。初めての長期留学・新しい環境などそれ以外にも不安に思う点は多くありました。カナダでの留学中も、正直楽しいことだけでなく辛いとき・悔しい思いをしたときもありました。思うように自分の伝えたいことが伝えられずに誤解が生まれてしまったとき・一生懸命勉強したのにも関わらず結果として報われなかったときなど、そういった時支えてくれたのは上記に挙げた方々です。是非、これを読んでいる皆さんにはそのような方々を一人でも多く見つけて貰えればと思います。私自身、留学中に辛い思いをしたことはあっても「留学しなければよかった」と思ったときは一度もないので、留学できることを誇りに実践女子大学の代表として自信をもって海外で新しい自分を見つけてきてください。

2018年度 実践女子大学 派遣留学報告書

留 学 先	カナダ・フレーザーバレー大学		
留学先での所属	English Language Studies		
派遣期間	2018年9月～2019年4月		
滞在先	学生寮		
本学での所属	文学部 英文学科	派遣時学年	2年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

留学を通して学んだことは、「たとえ、困難なことがあったとしても、うまく乗り切ることができる」ということだ。留学中は、文化や慣習の違いや言葉の壁で苦労することが沢山あった。しかし、カナダで生活していく中で、自分で考え自分で解決する術を身につけることができたと思う。留学に行かなければ、周りの人に頼るばかりで、自分自身で考え対処する機会はなかなかなかったと思う。これは、自分の内面で一番成長した部分であるし、また今後の人生において大いに役立つものだと思う。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

留学するにあたり、大事なことは「積極性」と「強い意志」を持つことだ。大学の授業では、ペアワーク、グループワーク、ディスカッションがほとんどである。ただ授業に出席するのではなく、自分から積極的に授業に参加し、自分の意見をはっきり述べるのが求められる。他の国からの留学生や現地の学生は日本の学生とは違い、とても積極的でよく発言をする。積極的ではないと授業についていけなくなるだろう。授業中は、知らないことをできるだけ多く吸収しようとする意欲が大切だと思う。また、友達を作るときも待っているだけではなかなか作れないと思う。初めのうちは、大学や地域のイベントにたくさん参加するようにし、色々な人と関わりを持つようにすると良いと思う。だんだんと自分に合う友達が増えていくはずだ。留学前は、異国での生活に慣れることができるのか、英語のみの授業についていけるのか、友達ができるのか、など不安なことがたくさんあるだろう。私も生活に慣れるまでは不安でいっぱいだった。しかし、8ヶ月のカナダ生活を経え、学力面だけではなく、精神的にも成長することができたと実感している。留学は自分自身を知り、成長できる良い機会である。自分自身の可能性を信じて頑張りたい。

2018年度 実践女子大学 派遣留学報告書

留 学 先	カナダ・フレーザーバレー大学		
留学先での所属	English Language Studies		
派遣期間	2018年9月～2019年4月		
滞在先	ホームステイ		
本学での所属	文学部 英文学科	派遣時学年	2年

留学生生活を振り返り、達成したこと留学で得たことを記入して下さい

大学生活を通して多くの友人を得た。ESL のクラスを受講する学生は英語を第二言語として用いている方がほとんどだったため、お互いに助け合いながら英語に関する知識を共有し合い、お互いに高め合うといった良い関係を築くことができた。人それぞれ様々な価値観や考え方を持っており、時に相手と意見がかち合ったり、理解に悩む場面に邂逅したりと勉強になる場面が多々あった。大学生活を通し得た友人から様々なことを学び、物事に対する視野が広がった。自分自身の成長に繋がったと感じている。

次年度以降の派遣学生へ伝えておきたいことを記入して下さい

カナダで一番苦労したことは英語の発音の仕方です。留学当初はネイティブの方々の英語の発音と自分自身が認識していた英語の発音とが大きく異なり、伝えたいことがうまく伝わらず苦労しました。伝えたいことがうまく伝わらず別な意味として解釈されてしまったり、何度も聞き返されたりすることで自分自身の英語力に自信が持たなくなってしまい、英語を話すことを恐れていた時期もありました。そのため A から Z までの正確な発音を習得してから留学生活に臨むことをお勧めします。8ヶ月という限られた期間を有意義に過ごし、自分自身の英語力を飛躍的に伸ばすためには、できるだけ早い段階から英語に触れる機会を設けることが重要となります。例えばクラスメイトやインストラクターなどと会話する機会を設けることは自分自身の英語力を確認する良い機会となり、反省点や改善点も見えくため英語力の向上に繋がります。またスピーキングの練習になるだけでなくリスニングの練習にもなります。海外での生活は日々新しい発見ばかりで葛藤することもあると思いますが、友人やホストファミリー等周りの方々が支えてくれると思います。何事も失敗を恐れず積極的に取り組むことが鍵となります。